

地方公共団体への支援について ＜橋梁点検・診断実習＞

- 富山県道路メンテナンス会議では、県内の自治体職員の橋梁点検・診断に関する技術力の向上を目的とした「橋梁点検・診断実習」を実施しました。
- 新しい道路橋定期点検要領に基づき、地方自治体が管理する橋梁を対象に、自治体職員自らが点検及び 診断を実習しました。



自治体管理橋梁で自治体職員自ら点検
(11月6日 富山県砺波市)



自治体職員による点検・診断記録作成演習
(11月6日 富山県砺波市)

【参加者のコメント】

- 今回、近接目視点検を行なった結果、桁端部の損傷や劣化が 意外と進んでいる事を実感したので、非常に参考になった。
- これまでには、橋の損傷原因まで深く考えていなかったが、今回の実習で損傷原因の推定を診断し・記録する重要性について理解できたので良かった。
- 自ら「点検記録」を作成することができ、参考になった。

【参加状況】 ()書きは、参加人数を示す。

【富山県内】:3市、2町(計21名)

- 11/ 6 砧波市[谷内川橋] : 砧波市(4)、小矢部市(3)、氷見市(2)、入善町(2) 計11名
 - 11/ 7 立山町[第二米道橋]: 立山町(10) 計10名
- 合計21名